

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	武雄市立東川登小学校
1 前年度 評価結果の概要	「かしこく」・・・校内研究の議論の場を通して、教職員の授業改善への意識が高まっている。インプット型の学びからアウトプット型の学びへの過渡期となる1年であった。「やさしく」・・・あいさつの取組を通して、児童が自身のあいさつの実態を客観的にとらえることができるようになったことは、次のステップにつながる成果である。「たくましく」・・・家庭でのテレビやゲーム、SNSの問題への取組として、健康面や学力面と合わせて、児童がしているオンラインゲームの実態を保護者に知ってもらい取組もできた。次年度は、児童の姿容が目に見える形で、成果を上げなければならない。「自信」と「主体性」をキーワードとして以下のことに取り組んでいく。①児童の主体的な活動を重視した学習過程(単元構成)の工夫。②地域教育資源を有効活用した生活科・総合的な学習の時間の充実。(相手意識と目的意識を明確にして、表現活動やコミュニケーションを取り入れた学習)③あいさつや言葉遣いの指導の年間計画と振り返り活動の充実。④児童を信じて任せる出番・役割・承認を意識した教育活動の工夫(児童会活動、学校行事等)

2 学校教育目標	<p>生き抜く力の育成「やさしく かしこく たくましく」</p> <p>～自ら進んで学び 心豊かに たくましく生きる子どもの育成～</p> <p>【めざす子ども像】 ○人の気持ちに寄り添うことができる子ども ○「ひとものこと」にかかわって学び、進んで学習する子ども ○望ましい生活習慣を身に付け、元気な心と体でがんばる子ども</p>
----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 本年度の重点目標	<p>① 国語科を中心とした活気ある授業の創造(主体的・対話的で深い学びの実現、地域と関連させた単元構成の工夫、タブレットや電子黒板等ICTの効果的な活用)</p> <p>② 子どもと共に活躍する、子どもが活躍する場の充実(花まるタイムの充実、委員会や縦割り活動等の充実、子どもの発表の場づくりと指導)</p>
------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践 ○国語科を中心とした活気ある授業づくりの実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上 ○「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができる」と回答した児童90%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研究等により取組の促進を図る。 ・「授業づくりのステップ1,2,3Vol2」を踏まえ、日常の授業で、子どもと子どもの考えをつなぎ、子ども同士の交流を通して「話し合う活動」を進める。 ・授業評価シートの活用。			
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 ◎ふるさとを誇りに思う教育活動	○「相手の気持ちを考えることができる」や「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した児童90%以上 ○「学校は楽しい。」と回答した児童95%以上 ○東川登町の自慢を答えることができた児童90%以上	・児童会を中心としたアルミ缶回収等ボランティア活動をより主体性をもたせた取組として改善・充実を図る。 ・地域GT、保護者参加型のふれあい道徳の実践(教育フェスタ等) ・生活アンケートや教育相談週間の活用。 ・いじめ防止基本方針を周知徹底し、迅速かつ組織的対応の徹底を図る。 ・生活科・総合的な学習の時間・国語科等と関連させた地域の特色を生かした学習の充実を図る。							道徳教育推進教師 生徒指導主任 教育相談主任 教務主任
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成 ○「スポーツチャレンジ」への取組を通じた体づくり	●健康に食事は大切であると考えている児童95%以上 ○各学年3種目以上にエントリーする	・生活状況調査、食に関する意識調査の実施 ・保健だよりの発行 ・「たてわりで挑戦8の字とび」にエントリーし、年間を通じた取り組みとする。 ・各学年で年間を通して切れ目のない継続的な取組とする。							食育担当 養護教諭 体育主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務等時間の上限を遵守する。	・職員一人一人の勤務状況の把握と選択制時退勤日の推進 ・「働き方改革」のための議論の場を年間3回以上設定(改善アンケート7月1日、研修会8月)							管理職

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○ICT利活用教育	○教育の質の向上に向けたICT利活用教育の充実	○電子黒板やタブレットを使った授業はわかりやすいと回答した児童90%以上	・参観授業等で年2回以上タブレット端末を活用した授業または、プログラミング教育を実施する。 ・研修会を年間2回以上行う。			
○官民一体型教育	○地域学校協同本部「花まる」タイム等の充実	○花まるタイムや地域の方とする学習は自分のためになっていると回答した児童90%以上	・学校と参加者の互恵関係を充実させる取組の工夫。							管理職

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------